

台湾の学校と 看護教育連携

出水中央高が協定

出水市の出水中央高校は、台湾の馬偕（マツケイ）医護管理専科学校と、看護に関する学術交流協定を結んだ。台湾の医療現場での研修や、スマート医療実習室を活用した協働学習など、多彩な交流を検討する。昨秋、出水中央高の関係者が同専科学校を訪問。同

校が導入する情報通信技術（ICT）を活用したスマート医療に関心を持ち、教育活動に取り入れたいと考



協定を結んだ宮原義文校長（右）とサイ・チェンジャ校長。出水市の出水中央高校

えたのと、同専科学校も出水中央の看護教育に興味を持ったのがきっかけ。協定は教育水準の向上や国際協力の推進を目的に、①生徒や教職員の交換交流②スマート医療を中心とした共同研究③学術的情報や資料、刊行物の交換—などを想定する。

調印式は19日、出水中央高であり、宮原義文校長（62）は「調印は意義深い。両校にとって、未来の学び

の第一歩となることを心から祈念する」とあいさつ。同専科学校のサイ・チェンジャ校長（58）は「多様で深化した協力を展開し、革新的な学術交流の道とともに切り開きたい」と述べた。

（清水裕貴）